

祝詞

松浦寅三郎

拜啓酷暑の候諸君益御壯健日夜御精勵の趣奉恭賀候貴校は御創立以來諸先生學生諸君の御盡力に依り愈隆盛に向ひ今年五十周年記念式御舉行の由洵に不勝欽慶候往事を回顧し感懷無限に御座候乍略儀以書中謹みて御祝詞申上候 敬具

昭和十二年七月十八日

松浦寅三郎

第五高等學校雜誌部御中

龍南の回顧

吉岡郷甫

私が五高に在任の時、大正九年十月に開校三十週年記念式を挙げた。あれから十七年を経て、今年に創立五十週年記念式が挙げられるといふ。月日の立つのの早いのには、全く驚かされてしまふ。

○ 私の高高に赴任したのは、大正二年の十一月であつた。着任して二三日すると、北九州地方に野外演習の旅行をするといふので、一所に付添つて行つた。一週間ばかりして歸つて來ると、間もなく寄宿舎の生徒の間から赤痢患者が續出した。其の年の春のチブスの猖獗にをのいた生徒は、更に此の新しい赤痢の發生におびえなければならなかつた。學校は動搖した。當時三十八歳の未熟な私は、ほとほと當惑した。併し練達した教授たちに援けられて、やうやく之を切り抜けた。